

4. 介護ロボットおよび介護支援機器・福祉用具の使用法（手順チェックリスト）

2) 移動・移乗スライディング用具

(2) 移動・移乗スライディング用具の使用手順および注意事項

③ローラーズライド使用手順

④リクライニング型車いすからベッドへ（介助者2人で行う.以下、介助者A,介助者Bと表記する）

項目	No.	手順	留意点や手順のねらい
使用前の点検	①	使用物品（ローラーズライド、リクライニング車いす：以下車いす、ストレッチャー）の点検をしておく。 膝窩部に当てるクッションも準備しておく	
	②	利用者にあいさつをする。	
コミュニケーション	③	これから行うことについての説明を行い、同意を得る。	
	④	利用者の体調を確認する。	
移乗の準備	⑤	車いすのリクライニングを倒し膝窩部にクッションを入れる。	下肢の分離を防ぎ、移動しやすくなる。 下腿が支えられ安楽な姿勢になる。
	⑥	ベッドが車いすより少し低くなるよう高さ調整を行う。介助者Aは転落しないように身体を支え、介助者Bは車いすとベッドの間を介助者が入れられるように車いすを移動する。	ローラーズライドをベッドの上に準備しておく。
	⑦	介助者Bは、車いすとベッドの間に入り、車いすの右のアームサポートをおろす。介助者Aは、利用者の頭部の枕と大転子部、膝窩部のクッションを支えながら利用者の身体を半側臥位にし、介助者Bが利用者の体の下にローラーズライドを差しこんだ後、利用者の身体を仰臥位に戻す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体の半分程度がローラーズライドに乗る程度に差し込めれば良い。</li> <li>・枕がローラーズライドに乗る位置に差し込む。</li> <li>・移動方向側の足もローラーズライドに乗せておく。</li> <li>・利用者の半側臥位を支える介助者は前傾姿勢になりすぎないように注意する。</li> </ul>
	⑧	利用者の膝窩部にクッションを当て、枕と同様に移動する方向に少し引き出しておく。	



※ ⑥～⑧ 体重が重い・体格が大きい利用者は、車いすの操作が重く動かしにくいこともあるため、車いすとベッドの間は寄せておき、ベッドの反対側から直接ローラーズライドを差し込むほうが行いやすい場合もある。この場合は介助者Bは、ベッド上に膝をついたりベッドの高さを調整して、身体に負担がかからないように注意する。

	⑨ 車いすとベッドの間にローラースライドが置かれるように、車いすをベッドに横づけする。	利用者が車いすから転落しないよう気を付ける。
	⑩ 介助者AとBは車いすとベッドを挟んで両端に立つ。	
移乗	⑪ 介助者Aは、利用者の肩の下の枕と大転子部に手を当て、ベッドの端まで利用者の身体をゆっくり押す。介助者Bは利用者の身体が近づいてきたら、利用者の頭部の枕の方の部分と転子部、膝窩部のクッションを持ちゆっくり引き寄せる。	
	⑫ 利用者の身体がベッドに乗り、転落の危険がないかを確認した後、車いすをベッドから少し離し、介助者Aは車いすとベッドの間に移動する。(ベッドの両サイドに介助者が立つ形になる)	事故防止や利用者の不安を軽減するために、一気にベッドの中央まで滑らすのではなく、転落の危険がない位置まで移動できたら、一度止める。
	⑬ 介助者Aは再び利用者の身体を押し、介助者Bは利用者の骨盤を持って引き、利用者の身体がベッドの中央に来よう調整する。	
	⑭ 介助者Bが利用者の頭部の枕と大転子部、膝窩部のクッションを支えながら利用者の身体を半側臥位にし、介助者Aは、ローラースライドを頭側から斜めに抜く。	
安全、安	⑮ 利用者の姿勢や衣服にゆがみ、ひねりがないか確認する	



薬の確認	⑩ 利用者自身に苦痛や体調の悪化がないか確認する	
------	--------------------------	--